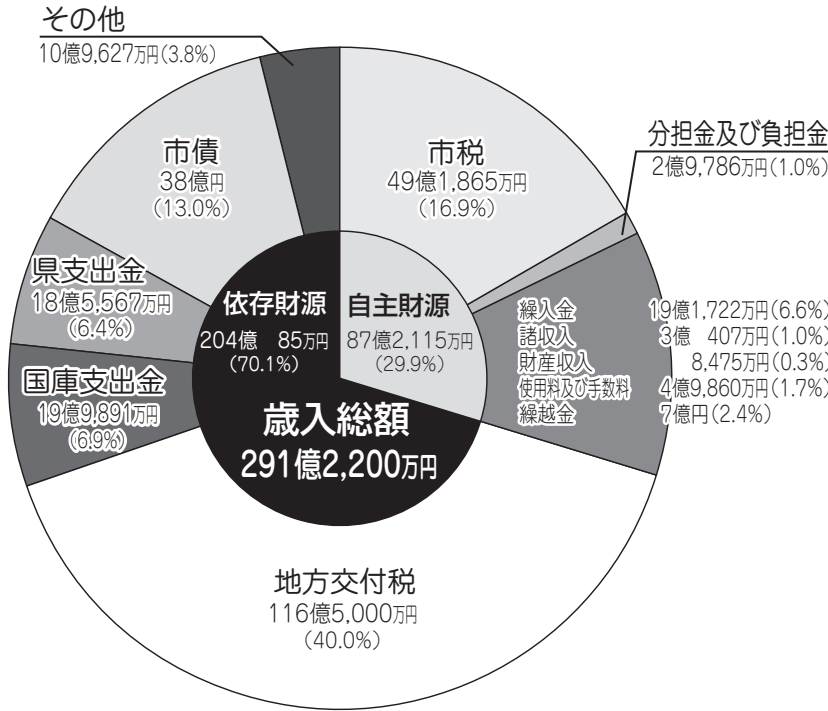


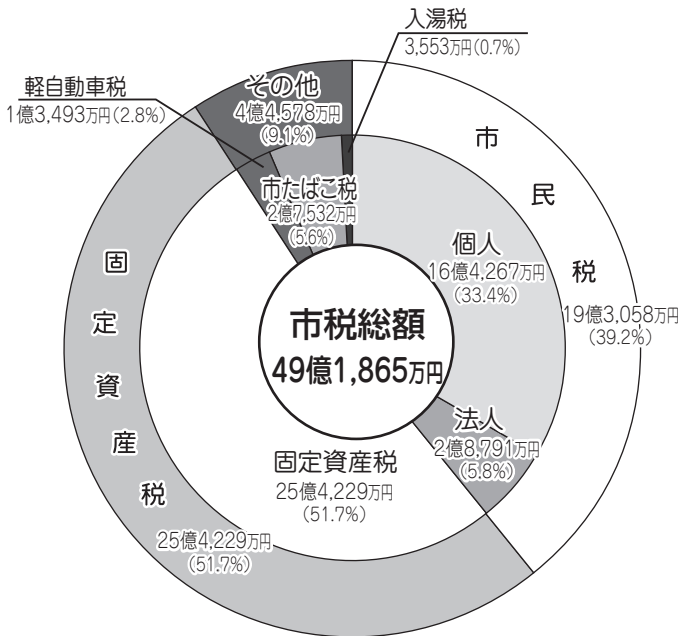
一般会計 歳入の内訳



特集

平成29年度 当初予算

市税の内訳



総額	506億3,184万円
一般会計	291億2,200万円
特別会計	158億1,869万円
企業会計	56億9,115万円

- 次の7つを柱とした予算編成
- 産業・雇用（地域資源を活かして産業を育てるまち）
 - 環境・防災・社会基盤（美しい水と緑を守り、暮らしの基盤が整う共生のまち）
 - 健康・福祉（支えあい助け合う安心のまち）
 - 教育・文化・人づくり（香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち）
 - 自治・まちづくり（市民と行政が協働でつくるまち）
 - 地域振興（個性あふれる地域づくりを推進するまち）
 - 行財政運営（健全な行財政運営を実現するまち）

郡上市の平成29年度予算の総額は、約506億円。そのうち福祉、医療、教育や道路整備など、みなさんにとって基礎的な行政サービスを行う一般会計は、約291億円（平成28年度の当初予算に比べ、4.4%の増となっております）。

一般会計の歳入のうち、市税は49億1,865万円（前年度比0.002%増）、国庫支出金は、臨時福祉給付金補助金や社会資本整備総合交付金の減などにより19億9,891万円（同11.2%減）、地方交付税は合併算定替の段階的縮減などにより11億5,000万円（同4.7%減）を見込んでいます。市債は、平成30年度まで発行可能な合併特例債の積極的な活用により、38億円（同16.5%増）となっております。

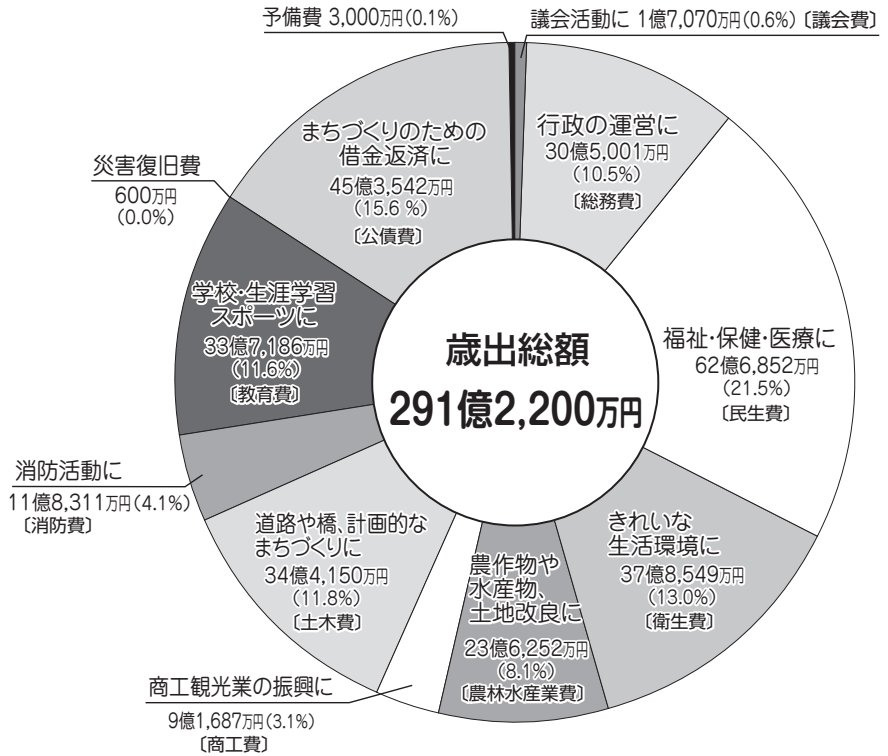
また今年度は、まん真ん中広場整備と郡上八幡総合運動場整備のための財源として、公共施設整備基金から5億5,000万円を、財源不足を補うために財政調整基金から13億2,000万円を繰り入れることとしています。

市税収入などの自主財源は、87億2,115万円（全体の29.9%）しかなく、地方交付税や国庫支出金などの依存財源の占める割合が大きなものとなっております。

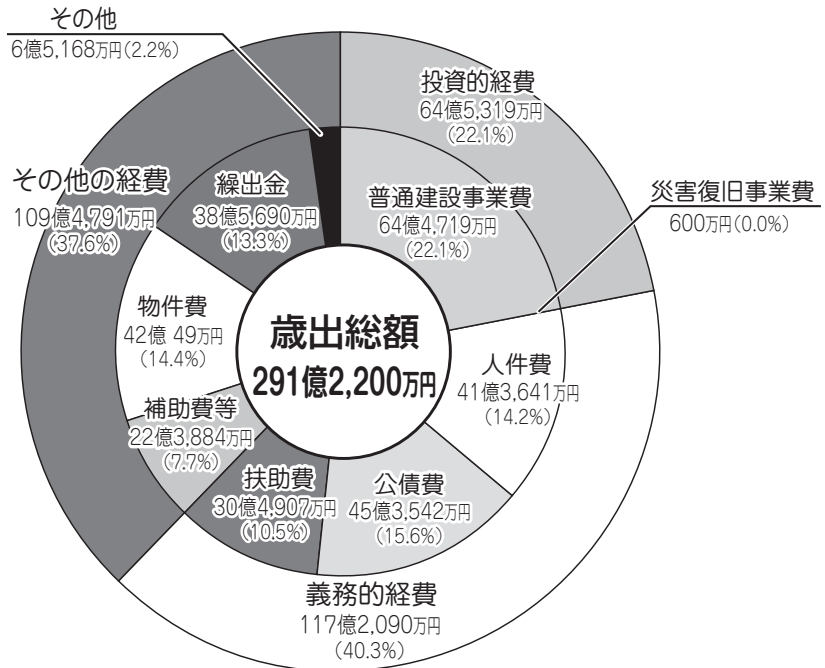
用語解説

- 市税…市民のみなさんから納めていただく市民税や固定資産税など
- 繰越金…前年度から繰り越されたお金
- 繰入金…基金（特定の目的のために積み立てられる資金または財産）などを取り崩して、一般会計へ繰り入れるお金
- 分担金および負担金…福祉事業や土木事業などに対する負担金
- 使用料および手数料…住民票などの発行手数料や市営住宅の使用料など
- 市債…道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（借入金）
- 地方交付税…国税の定率分を、市の財政状況に応じた一定の基準により、国が交付するお金
- 国、県支出金…国、県の施策に沿った特定の事業を行う場合などの財源として交付されるお金
- 人件費…職員、議員などに支払われる給与や報酬など
- 公債費…主に事業を行うために借り入れたお金（市債）の元利償還金
- 扶助費…児童や老人などの生活支援、生活保護などに使われる費用
- 普通建設事業費…道路や学校など、公共、公用施設の建設や整備にかかる費用
- 物件費…公共、公用施設の維持管理や旅費、交際費、需用費、備品の購入に充てられる費用
- 繰出金…一般会計から特別会計へ支出される経費

一般会計の主な使いみち



性質別の使いみち



歳出については、少子化対策や、高齢者などに対する福祉医療や保健に使われる民生費が62億6,852万円(同0.8%増)、きれいな生活環境の向上に使われる衛生費が37億8,549万円(同13.9%増)と、大きな割合を占めています。歴史資料・文化財収蔵施設の建設、まん真ん中広場整備など大型建設事業の実施により、教育費は33億7,186万円(同40.0%増)と大幅に増加しました。また、まちづくりの借金返済にあたる公債費は45億3,542万円(同6.0%減)となり、歳出全体の15.6%となっています。

性質別では、人件費と公債費、扶助費を合わせた義務的経費(同3.6%減)は40.3%と大きな割合を占め、普通建設事業費などの投資的経費(同26.6%増)は、22.1%となっています。また、一般会計から特別会計へ支出される繰出金(同0.4%増)の割合も13.3%と大きくなっています。

今後とも大変厳しい状況が続くと思われ、引き続き職員定数の適正化や公共施設の見直しなどを進め、財政の健全化を最重要課題として、行政改革に取り組んでいく必要があります。

全会計における市債・公債費・市債残高の推移

(収入)

(支出)

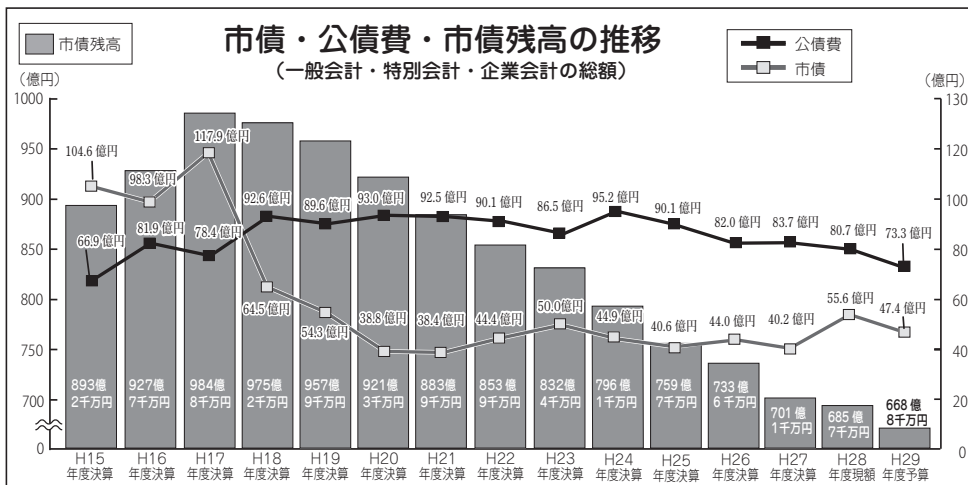
(ストック)

ここでは、市が道路や学校などの公共施設を整備するために借り入れるお金（市債）、借り入れたお金の返済金（公債費）、借金の残高（市債残高）について、平成15年度末の合併時から平成29年度（予算）までの間に、どのように推移してきたのかを表とグラフを使って説明します。

▼市債（借入金）の推移…合併時の104億6千万円から比較すると、今年度の当初予算では半分以下の47億4千万円となっています。市の厳しい財政状況から、今後も新たに借り入れるお金を減らしていく取組を継続します（平成16年度から平成17年度にかけて増えているのは、市民病院建設等により一時的に増加したものです。また、平成28年度は産業振興拠点施設、道の駅「白鳥」の整備予算計上、簡易水道施設の統合事業により増加しています）。

▼公債費（返済金）の推移…平成24年度は約10億円、平成25年度には約8億円、平成26年には約3億円の繰上償還を行ったため、公債費が増加していますが、実質的には平成20年度の93億円をピークに、今年度の当初予算では73億3千万円となっています。平成27年度と平成28年度にはそれぞれ約6億円の繰上償還を実施しており、公債費は徐々に減少する見込みです。

▼市債残高（借金残高）…合併時から平成17年度までは増加し、最大で984億8千万円でした。新年度における残高見込みは668億8千万円となりますので、12年でピーク時の32.1%を減額しました。今後も借金残高を減らす努力を継続します。



一般会計

単位:億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市債	70.8	68.7	58.5	46.3	38.4	31.5	33.4	38.7	42.3	34.0	28.4	28.9	28.8	38.3	38.0
公債費	52.1	59.8	55.1	58.1	61.5	60.9	59.3	62.0	58.2	66.6	62.6	55.5	57.0	53.9	45.4
うち元金分	42.6	50.3	46.2	49.1	52.6	52.4	51.3	54.5	51.1	60.1	56.9	50.5	52.7	50.2	42.1
うち利子分	9.5	9.6	9.0	9.1	9.0	8.5	8.0	7.5	7.1	6.5	5.7	5.0	4.3	3.7	3.3
市債残高	507.6	526.1	538.4	535.6	526.3	505.4	487.5	471.7	462.9	436.8	408.4	386.8	362.9	351.1	347.0

特別会計

単位:億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市債	25.2	18.6	14.8	14.3	15.4	6.9	4.8	5.7	6.9	9.8	9.6	14.2	11.0	16.4	7.6
公債費	10.9	17.4	19.1	22.0	23.2	27.3	28.1	22.6	22.4	22.8	21.4	19.9	19.9	20.3	21.4
うち元金分	8.7	10.7	12.2	15.0	16.3	20.4	21.6	16.6	16.6	17.2	16.0	14.7	14.9	15.6	16.9
うち利子分	2.2	6.7	7.0	7.0	6.9	6.9	6.5	6.0	5.8	5.6	5.4	5.2	5.0	4.7	4.5
市債残高	326.6	334.5	337.2	336.4	334.2	320.7	303.8	292.9	283.3	275.9	269.5	269.0	265.1	265.9	256.6

企業会計

単位:億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市債	8.6	11.1	44.6	3.9	0.5	0.4	0.2	0.0	0.8	1.1	2.6	0.9	0.4	0.9	1.8
公債費	3.9	4.6	4.1	12.5	4.9	4.8	5.1	5.5	5.9	5.8	6.1	6.6	6.8	6.5	6.5
うち元金分	2.3	2.9	2.5	10.0	2.6	2.5	2.9	3.4	3.8	3.9	4.3	4.8	5.1	5.3	5.3
うち利子分	1.6	1.7	1.6	2.4	2.3	2.2	2.2	2.1	2.1	1.9	1.9	1.8	1.7	1.2	1.2
市債残高	59.0	67.1	109.2	103.2	97.5	95.2	92.6	89.2	86.2	83.4	81.8	77.8	73.1	68.7	65.2

合計

単位:億円

年度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
市債	104.6	98.3	117.9	64.5	54.3	38.8	38.4	44.4	50.0	44.9	40.6	44.0	40.2	55.6	47.4
公債費	66.9	81.9	78.4	92.6	89.6	93.0	92.5	90.1	86.5	95.2	90.1	82.0	83.7	80.7	73.3
うち元金分	53.6	63.9	60.8	74.1	71.5	75.4	75.8	74.5	71.5	81.1	77.2	70.0	72.7	71.1	64.3
うち利子分	13.3	18.0	17.6	18.5	18.2	17.6	16.7	15.6	15.0	14.1	13.0	12.0	11.0	9.6	9.0
市債残高	893.2	927.7	984.8	975.2	957.9	921.3	883.9	853.9	832.4	796.1	759.7	733.6	701.1	685.7	668.8

※市債、公債費、市債残高の平成27年度以前は決算の数値です。

※数値は四捨五入により、合計額と合わない場合があります。

※平成28年度、29年度の数字は、今後の決算や補正予算によって変わることがあります。

予算
現額

当初
予算

平成29年度 当初予算 全会計一覧

会 計	平成29年度予算額	平成28年度予算額	増減率 (%)	予算の内容	
一 般 会 計	291億2,200万円	279億 300万円	4.4	基礎的な行政サービスに	
国民健康保険特別会計	58億 13万円	57億1,958万円	1.4	国民健康保険の運営に	
国民健康保険特別会計 (直営診療施設勘定)	4億9,035万円	5億1,876万円	▲5.5	高鷲・和良診療所、和良歯科診療所の運営に	
簡易水道事業特別会計	13億4,101万円	30億1,106万円	▲55.5	簡易水道の供給や工事に	
下水道事業特別会計	23億5,506万円	23億3,180万円	1.0	下水処理や下水道工事に	
介護保険特別会計	42億 317万円	42億8,444万円	▲1.9	介護保険の運営に	
介護サービス事業特別会計	7億1,291万円	7億 571万円	1.0	郡上偕楽園特別養護施設の運営と白鳥病院などで行う介護サービスの運営に	
ケーブルテレビ事業特別会計	1億2,828万円	1億2,841万円	▲0.1	郡上ケーブルテレビの運営に	
駐車場事業特別会計	397万円	463万円	▲14.3	市営駐車場の管理運営に	
宅地開発特別会計	573万円	573万円	0.0	分譲地の販売及び経費に	
青少年育英奨学資金貸付特別会計	3,383万円	3,300万円	2.5	就学の支援に	
鉄道経営対策事業基金特別会計	88万円	1,192万円	▲92.6	長良川鉄道の経営安定などに	
後期高齢者医療特別会計	5億8,352万円	5億9,272万円	▲1.6	高齢者の医療に	
小水力発電事業特別会計	1,419万円	1,419万円	0.0	小水力発電施設の管理運営に	
大和財産区特別会計	1,873万円	1,300万円	44.1	財産区有林の育成に	
白鳥財産区特別会計	1,108万円	1,674万円	▲33.8	財産区有林の育成に	
牛道財産区特別会計	1,692万円	2,397万円	▲29.4	財産区有林の育成に	
石徹白財産区特別会計	3,470万円	3,595万円	▲3.5	財産区有林の育成に	
高鷲財産区特別会計	3,107万円	3,075万円	1.1	財産区有林の育成に	
下川財産区特別会計	542万円	529万円	2.5	財産区有林の育成に	
明宝財産区特別会計	2,150万円	3,230万円	▲33.4	財産区有林の育成に	
和良財産区特別会計	624万円	942万円	▲33.8	財産区有林の育成に	
特別会計 計	158億1,869万円	175億2,938万円	▲9.8		
企 業 会 計	水道事業会計 (収益)	3億 829万円	3億3,912万円	▲9.1	上水道の供給や上水道工事に
		(資本)	3億9,035万円	1億6,985万円	
	病院事業会計 (収益)	43億2,039万円	43億 808万円	0.3	市民病院、白鳥病院の運営に
		(資本)	6億7,212万円	6億4,708万円	
企業会計 計	56億9,115万円	54億6,413万円	4.2		
総 額	506億3,184万円	508億9,651万円	▲0.5		

※各会計の合計額は四捨五入により合わない場合があります。